

**塗装仕様書**  
(アクアトップ SF水性 リフレッシュ工法)  
ー打放しコンクリート面ー

大同塗料株式会社  
技術部

工事件名：

塗装仕様／適応下地…打放しコンクリート面				
工 程	使 用 材 料	塗布量 (kg/m <sup>2</sup> )	施工間隔 (20℃)	塗布方法
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 汚れ、油分などを除去し、清浄かつ乾燥した状態にしてください。(含水率目安：ケット水分計6%以下)</li> <li>・ 塗布対象面のクラック、ジャンカ、欠損等のある場合は、色合いおよび吸い込みが同程度のモルタル補修材およびシーリング材等で補修し、乾燥・硬化した状態にしてください。</li> </ul>			
1	アクアトップ SF 水性	0.08～0.10	追っかけ塗り ～1時間以内	刷毛 ローラー
2	アクアトップ SF 水性調合液 (専用着色剤30%添加)	0.10～0.12	追っかけ塗り ～1時間以内	刷毛 ローラー
3	アクアトップ SF 水性調合液 (専用着色剤30%添加)	0.10～0.12	24時間以上 乾燥養生	刷毛 ローラー

<事前確認>

- (1) アクアトップ SF 水性調合液を塗布した際、稀に風合い変色および樹脂等のうきが発生することがあります。これを防ぐための事前確認および塗布量決定のための試し塗りを必ず実施してください。
- (2) 新築か補修、また基材の種類によって仕様書通りに施工できない場合があるので十分に確認してください(吸い込みの少ない場合は特に注意が必要)。

<注意事項>

- (1) 使用する前に缶を振るなどしてよく混ぜてください。
- (2) アクアトップ SF 水性調合液は希釈せずにそのまま使用してください。
- (3) 着色剤を添加した塗料は、長期保存せず必ず使い切ってください。
- (4) アクアトップ SF 水性と着色剤は質量比100：30の割合で混合しよく攪拌してください。着色剤は粘度が高く、缶の底、内壁に付着しやすいので注意して攪拌して、均一に混合しているか確認してください。少量のアクアトップ SF 水性と着色剤を混合してから、残りのアクアトップ SF 水性を混合すると均一化しやすくなります。施工中も分離していないか注意し、一定時間ごとによく攪拌してください。
- (5) 気温8℃以下、風速5m/秒以上、降雨、降雪の場合の施工は避けてください。また、施工中に降雨、降雪などにあった場合は施工を中止し、シート養生をして塗布面を保護してください。塗布対象面以外の箇所(植物、金属、ガラス、木材、コーキング材等)は養生等を施し、付着させないようにしてください。(固着すると全く除去できなくなる場合がありますので十分に注意してください。)
- (6) 塗布方法は、短毛ローラーを使用して塗りムラの無い様に施工してください。(スプレーで塗装される場合は、霧散しますので周辺の養生はより確実に行ってください。)
- (7) アクアトップ SF 水性調合液の塗布後24時間(20℃)は水がかからないように養生してください。

(養生時間内に雨水等がかかると白亜化や、性能不良を引き起こす原因となる場合がありますので十分に注意してください。)

- (8) 取り扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、マスク、保護眼鏡、保護手袋、前掛等を着用してください。

施工にあたっては、必ず施工手順書をご請求ください。